

令和 7 年度事業報告書

(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

令和 8 年 6 月 16 日

公益財団法人日本医学医療国際交流財団

事業報告書

(令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

I. 事業

概況

令和 7 年度はウズベキスタン、モンゴルを対象国に、令和 6 年度に検討した事業をベースとして、それらをさらに推進していく年となりました。

まずモンゴル事業については、モンゴル人医師 2 名を 2 回に分けて超音波内視鏡の来日研修を富山大学で行い、また期間中にそれぞれ内視鏡の学会に参加し、多くの成果を得て帰国しました。

また、指導教授である安田一朗教授がモンゴルに出張し、シンポジウムへの参加及び現地での講演、実技指導を行いました。

ウズベキスタン事業については、脳卒中科の筑波大学における来日研修において予定外の事態はあったものの、その後内視鏡外科 2 名の来日研修においては当初の目標通り充実した研修を行うことが出来ました。

秋には筑波大学において、当財団と筑波大学の共催によるシンポジウム「筑波会議」が開催され、ウズベキスタンからも医師が来日しプレゼンテーションを行うなどで、今後両国の医学交流がさらに盛んになっていくことが期待できます。

今後当財団としても可能な範囲でウズベキスタン、モンゴル両国の事業に最大限の支援を行っていく予定です。

事業の内容

公益目的事業 1

医学医療に関する研究者、従事者その他の関係者の派遣及び招聘事業

1. 国際医学医療交流事業への助成

令和 7 年度において助成対象となる事業はなかった。

2. 医療交流の検討

令和 7 年度は新たな打ち合わせ等を行われなかった。

3. モンゴル人医師に対する研修

(1) 超音波内視鏡来日研修

(来日医師氏名) アマルバット・バタルナム氏

(研修期間) 令和 7 年 5 月 8 日(木)～令和 7 年 6 月 11 日(水) (約 1 か月間)

(研修施設) 富山大学附属病院

(研修指導医師) 富山大学 安田一朗教授

※ 期間中 5 月 8 日(木)～12 日(月)まで札幌に滞在し消化器内視鏡学会に参加した。

(2) 超音波内視鏡来日研修

(来日医師氏名) イデルツェツェグ・バヤルサイハン氏

(研修期間) 令和 7 年 7 月 22 日(火)～令和 7 年 12 月 22 日(月) (約 5 か月間)

(研修施設) 富山大学附属病院

(研修指導医師) 富山大学 安田一朗教授

※ 期間中 10 月 29 日(水)～11 月 3 日(月)まで神戸に滞在し JDDW に参加した。

(3) 安田一朗教授のモンゴルへの出張指導

(実施時期・期間) 令和 7 年 8 月 4 日(月)～10 日(日) 7 日間

(研修施設) ウランバートル市 モンゴル国立がんセンター

(内容) 期間中安田教授による現地での講演と実技指導を行った。

4. ウズベキスタン人医師に対する研修

(1) 脳卒中科来日研修

(来日医師氏名) アリシャー・ユルダショフ氏

(研修期間) 令和 7 年 6 月 27 日(金)来日、その後帰国

(研修施設) 筑波大学病院

(研修指導医師) 筑波大学脳卒中科 松丸祐司教授

※ 1 年間の研修予定で来日したが、到着後の本人の精神面での急性憎悪のため研修は行われず、そのまま帰国となった。

(2) 消化器外科来日研修

(来日医師氏名) アスカル・アディルクホドジャエフ氏

(研修期間) 令和 7 年 9 月 5 日(金)～令和 7 年 10 月 3 日(金) 1 か月間

(研修施設) 筑波大学病院

(研修指導医師) 筑波大学消化器外科 小田竜也教授

※ 期間中 10 月 2 日(木)開催された筑波会議に参加した。

(3) 消化器外科来日研修

(来日医師氏名) ニゾムディン・フスヌディノフ氏

(研修期間) 令和 7 年 9 月 5 日(金)～令和 7 年 10 月 3 日(金) 1 か月間

(研修施設) 筑波大学病院

(研修指導医師) 筑波大学消化器外科 小田竜也教授

※ 期間中 10 月 2 日(木)開催された筑波会議に参加した。

(4) ウズベキスタンへの出張

(実施時期・期間) 令和 8 年 2 月 13 日(金)～2 月 20 日(金)

(訪問地) ウズベキスタン国立がんセンター、タシケント国立医科大学、サマルカンド国立医科大学、ウズベキスタン国立循環器病センター、在ウズベキスタン日本大使館

(出張者) 酒井常務理事

(出張目的) a.令和 8 年度財団事業計画に関するウズベキスタン各医療機関との討議と合意を得る。
b. 研修受け入れ条件及び人選に関する討議と合意を得る。
c. 理事会に提出する事業計画の最終版作成を行い、財団事業を円滑かつ確実に推進する。

(結果) 当初の出張目的はほぼ達成することが出来た。これにより令和 8 年度ウズベキスタンに関する事業計画は予定通り進めていくこととなった。

公益目的事業 2

医学医療に関する交流の推進及び知識の普及啓蒙のためのシンポジウム
開催事業

1. モンゴルでの国際シンポジウム参加

(実施時期・期間) 令和 7 年 8 月 4 日(月)～10 日(日) 7 日間

(訪問予定地) モンゴル・ウランバートル市

(参加者) 富山大学 安田一朗教授 財団 徳矢事務局長

(施設) モンゴル国立がんセンター

(参加者) 30 名程度

(内容) 安田教授の講演については聴衆の関心が非常に高く質疑が盛んになされた。また、日本で研修したアマルバット医師、テルグーンビレグ医師が講演し、ともに日本での研修の成果を生かした充実した内容の講演であった。

2. 国際シンポジウム(筑波会議)の開催

(日時) 令和 7 年 10 月 2 日(木) 10 : 30～14 : 30

(場所) 筑波大学

(シンポジウム参加者) 40 名程度

(ウズベキスタン人医師参加者) 6 名

(その他) ウズベキスタン人医師においては来日中、国立がん研究センター中央病院や富士フィルム佐野工場などの施設見学を行った。

Ⅱ. 庶務・管理

会議に関する事項

(第 38 回理事会)

1. 開催日時 令和 7 年 5 月 16 日 (金) 12 : 30～14 : 00
2. 開催場所 霞山会館
3. 議事事項

- (1) 令和 6 年度事業報告(案)の件
- (2) 令和 6 年度決算報告(案)の件

上記につき原案通り満場一致で承認可決された。

- (3) 報告事項 業務報告
ウズベキスタン出張報告

(第 16 回評議員会) : 書面による決議

1. 決議日 令和 7 年 6 月 12 日 (木)
2. 議事事項
 - (1) 令和 6 年度事業報告(案)の件
 - (2) 令和 6 年度決算報告(案)の件
 - (3) 基本財産の一部取り崩し(案)の件
 - (4) 任期満了に伴う評議員、理事、監事改選 (案)の件

上記につき評議員全員の書面による同意を得た。

- (5) 報告事項
令和 7 年度事業計画、事業予算、収支予算書
資金調達及び設備投資の見込みについて

(第 39 回理事会) : 書面による決議

1. 決議日 令和 7 年 7 月 7 日 (月)
2. 議事事項
 - (1) 中山譲治氏を代表理事に選定し、理事長とする。
 - (2) 酒井章氏を業務執行理事に選定し、常務理事とする。

上記につき理事全員の書面による同意を得た。

(第 40 回理事会)

2. 開催日時 令和 7 年 11 月 14 日 (金) 12 : 30～14 : 00
3. 開催場所 霞山会館
3. 報告事項
 - (1) 業務報告
 - (2) 米国債の満期償還に伴う債券買い替えの件上記につき報告がなされた。

(第 41 回理事会)

4. 開催日時 令和 8 年 3 月 17 日 (火) 12 : 30～14 : 00
5. 開催場所 霞山会館
6. 議事事項
 - (1) 令和 8 年度事業計画(案)の件
 - (2) 令和 8 年度収支予算(案)の件
 - (3) 基本財産の一部取り崩し(案)の件
 - (4) 資金調達及び設備投資見込みの件
 - (5) 第 42 回理事会、第 17 回評議員会開催の件
 - (6) 事務局長雇用契約更新(案)の件
 - (7) 「役員等旅費規程」の一部改定(案)の件上記につき原案通り満場一致で承認可決された。
報告事項 ウズベキスタン出張報告

以上